

IV. 業務を支える能力・考え方等

コミュニケーション能力、人間の尊厳、介護実践の考え方、
社会のしくみ、こころとからだのしくみ等

中項目	No	小項目
1. 心身機能・身体構造の理解	(1)	こころとからだのしくみが理解できる
2. 日本文化・社会の理解	(1)	介護に必要な利用者の生活習慣等を理解できる
	(2)	適切な身支度ができる（実習実施機関のルールに従って）
	(3)	適切な勤務態度である（実習実施機関のルールに従って）
3. 対人関係	(1)	利用者やその家族、職場のスタッフと適切な関係を持つことができる
4. コミュニケーション	(1)	話し言葉やジェスチャー、書き言葉を理解できる
	(2)	話し言葉やジェスチャー、書き言葉を使うことができる

1. 心身機能・身体構造の理解

(1) ころとからだのしくみが理解できる

「介護の対象となる人のころとからだのしくみが理解できるか、そのうえで利用者の心理面へ配慮をすることができるか確認する」

<チェック項目>

- 身体的主要器官や部位の名称、はたらきを理解しているか
- 身体の部位の機能が低下すると、どのような状態になるかを理解しているか
- 利用者が抱えているポジティブ/ネガティブな感情や痛みなどの感覚を理解しているか

<チェック項目と確認ポイント>

チェック項目	確認ポイント
身体的主要器官や部位の名称、はたらきを理解しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・体幹と体肢のそれぞれの名称を言える。 ・人体の骨格の名称と部位を結びつける。 ・筋肉の部位とはたらきを言える。 ・気道と肺の部位と呼吸のしくみを言える。 ・心臓と血液の流れを言える。 ・消化器官の名称と部位、はたらきを言える。 ・眼・耳・鼻・舌・皮膚のはたらきを言える。

チェック項目	確認ポイント
身体の部位の機能が低下すると、どのような状態になるかを理解しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・骨が折れるとその部位が動かせなくなることが分かっている。 ・寝たまましていると、筋肉が衰えることが分かっている。 ・気管に異物が入ると、息が苦しくなり、息ができなくなることが分かっている。 ・心臓の働きが悪いと血圧低下や息切れ、むくみが出ることが分かっている。 ・食事を摂らないと栄養不良や体力減退にいたることが分かっている。 ・消化管のはたらきが悪いと便の異常につながることを分かっている。 ・見えづらい、聞こえにくいことにより、転倒の危険があることが分かっている。

チェック項目	確認ポイント
利用者が抱えているポジティブ/ネガティブな感情や痛み等の感覚を理解しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・感情には、喜・怒・哀・楽があり、顔の表情や行動にあらわれることを言える。 ・利用者のポジティブ/ネガティブな表情から普段と違うことに気がつく。 ・利用者の感情に気を配り、優しく接する。 ・痛みや辛いことがあることを、利用者の顔の表情や行動から汲み取る。 ・痛みがあることは、ころや身体に何らかの異変があることだと察する。

(解説)

- 適切な介護を行うために、こころとからだについての基礎知識をもつ必要があります。人間の身体のしくみを知り、根拠に基づいた正しい方法を身に付けましょう。また、利用者の感じている気持ちや喜怒哀楽の感情を汲み取り、その人に合わせて、時間や場所の設定や介護の方法を考慮することが大切です。
- 食事摂取や排泄、移動、睡眠等の生活場面において、こころとからだは密接に関連しています。また、利用者の喜びや楽しみ、あるいは辛さや痛み等の表情が、何故なのか、という疑問をもち、介護にあたることが大切です。常に利用者の尊厳と自立の視点に立ち、介護が必要かどうかを考え、適切な介護方法の選択をしましょう。
- 例えば、移動の介助においては、人が移動することの必要性、移動するための身体のしくみについて理解しておく必要があります。移動能力を保つためには普段から何に留意すればいいのかを考え、自力できている能力を落とさないように心がけ介護にあたることが大切です。移動能力が低下している場合は、何が原因なのかをこころとからだの両面から考え、そのうえでどう対処すればいいのかを考える必要があります。

2. 日本文化・社会の理解と表出

(1) 介護に必要な日本の制度や生活習慣等を理解できる

「施設や介護場面において必要な日本の制度や生活習慣、マナー等を理解できているか確認する」

<チェック項目>

- 高齢や障害など支援を必要としている人々が、社会において機能できるよう支援を行うことを目的としたサービス・制度・政策があることを理解しているか
- 支援を行うにあたって、支援を必要としている人の生活習慣等を知ることは重要であることを理解しているか

<チェック項目と確認ポイント>

チェック項目	確認ポイント
高齢や障害等支援を必要としている人々が、社会において機能できるよう支援を行うことを目的としたサービス・制度・政策があることを理解しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・実習実施機関が、どの法律に基づいた施設か、説明できる。 ・日本の福祉制度に、高齢・障害・児童・低所得・母子等の分野があることを知っている。

(解説)

- ・福祉が国の制度になっている日本では、法律によってサービスの種類やサービス提供内容が決まっており、公費や保険料から報酬を得ています。これらの基本的な枠組みを理解することが重要です。
- ・実習実施機関の情報だけでなく、高齢者、障害者、児童等福祉制度が細分化されており、きめ細かなサービスが提供されていることも理解する必要があります。

チェック項目	確認ポイント
支援を行うにあたって、支援を必要としている人の生活習慣等を知ることは重要であることを理解しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の生活習慣について、具体的に説明できる。

(解説)

- ・利用者の個別性を尊重しその人らしい人生を送るための支援が重要です。
- ・介護は生活を支援するものであるため、利用者の生活文化や生活習慣を理解することが重要です。

(2) 適切な身支度ができる（実習実施機関のルールに従って）

「日中及び夜間、季節や行事等のTPOに応じ、利用者が快適に過ごせるよう、本人の自己決定を尊重しつつ適切な身支度ができるか確認する」

<チェック項目>

- 日中及び夜間、季節や行事等のTPOに応じた身支度の重要性について理解しているか
- 利用者本人の自己決定を尊重した適切な身支度の重要性について理解しているか

<チェック項目と確認ポイント>

チェック項目	確認ポイント
日中及び夜間、季節や行事等のTPOに応じた身支度の重要性について理解しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・気候にあわせた装いを提案できる。 ・場面にあわせた装いを整えられる。 ・裾を引きずる、袖が長すぎるといったことがない。

(解説)

- ・日中に着るものと夜間に着るものとを分ける等、生活にメリハリをつけるよう配慮する必要があります。
- ・日本には四季があり、衣替えという習慣があります。また、夏は高温多湿でもあるので、気候に合わせた身支度が必要です。
- ・行事（運動会、結婚式、葬式等）の際に、TPOに応じた適切な身支度が必要です。

チェック項目	確認ポイント
利用者本人の自己決定を尊重した適切な身支度の重要性について理解しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・身につける服やアクセサリ、髪形や髭、スキンケア、化粧等について、利用者本人の好みを聞いている。

(解説)

- ・ファッションは自己表現の一つでもあることを理解したうえで、どのような装いにするのか利用者の意向を尊重しながら提案し、気分良く過ごせるように配慮する必要があります。

(3) 適切な勤務態度である（実習実施機関のルールに従って）

「その組織において適切な勤務態度が身についているか確認する」

<チェック項目>

- 施設内での実習を円滑に行うために必要な日本人の特性や日本のマナーについて理解しているか
- 時間を厳守することの重要性について理解しているか
- 前日起きたこと等の申し送りや緊急時の対応内容を把握した上で、支援に入ることの重要性について理解しているか
- 組織として利用者の支援を行う「チーム支援」の重要性について理解しているか

<チェック項目と確認ポイント>

チェック項目	確認ポイント
施設内での実習を円滑に行うために必要な日本人の特性や日本のマナーについて理解しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が不満そうであっても、介助依頼がないから介助しないといった割り切りをせず、対応している。 ・落とし物があった場合、管理部門に届けている。

(解説)

- ・日本人の特性や日本独特のマナーを理解し実行することは、利用者や職場の同僚とのコミュニケーションや仕事を円滑にします。
- ・また、日本人の清潔好きにも戸惑うことがあるかもしれません。利用者の身体とともに施設内を清潔に保つことも、自然に行えるようになることが求められます。
- ・自分以外の人の持ち物が落ちていて拾った場合は、周囲に落とした人がいないか声をかけて確認し、その場で持ち主がわからない場合は、実習実施機関の管理部門に届けましょう。

チェック項目	確認ポイント
時間を厳守することの重要性について理解しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・約束の時間に遅れていない。

(解説)

- ・仕事をはじめるときは決められた時間から行動を開始できるように、5分前には準備を済ませておき、余裕をもってケアに入れるようにします。

チェック項目	確認ポイント
前日起きたこと等の申し送りや緊急時の対応内容を把握した上で、支援に入ることの重要性について理解しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援に入る申し送りや記録の確認をしている。 ・緊急時の対応について知っている。

(解説)

- ・日勤や夜勤等の変則勤務もあり、自分がいなかった時間帯に起こった出来事を把握しておき、利用者に必要な対応ができるよう配慮します。
- ・緊急時の対応（個人対応、災害時等）について事前に把握しておくことで、落ち着いて行動できます。

チェック項目	確認ポイント
組織として利用者の支援を行う「チーム支援」の重要性について理解しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・上司からの指示を聞いている。 ・同僚からの助言を聞いている。

(解説)

- ・利用者への支援は、個人のみで行うものではなく、チームで行うものです。したがって、上司からの指示だけでなく、同僚からの助言にも耳を傾けることが重要です。

3. 対人関係

(1) 利用者やその家族、職場のスタッフと適切な関係を持つことができる

「利用者や家族の訴えを確認することができたり、上司や同僚と情報を共有できることを確認する」

<チェック項目>

- 話を聞いて、字句通りの意味や言外の意味を理解しているか (N3 程度)
- ジェスチャー、シンボル、絵等言葉以外で伝えられるメッセージの意味を理解しているか
(例：声かけをした際に返事がなく、ぐったりしていると体調が悪いと理解する)
- ひらがなで伝えられる簡単な単語を理解しているか (例：「○○さんからでんわ」等)

<チェック項目と確認ポイント>

チェック項目	確認ポイント
話を聞いて、字句通りの意味や言外の意味を理解しているか (N 3 程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶を返すことができる。 ・名前を呼ばれ、呼び止められたら、立ち止まり返事を返すことができる。 ・飲み物がほしい、トイレに行きたい、等、具体的な要望や訴えを理解できる。 ・わからないときに、上司に報告し、指示を受けることができる。

(解説)

- ・コミュニケーションの基本である挨拶ができ、相手から、自分に何を頼まれているのかを理解できるようになり、わからないことは上司等に相談し、指示を受けることが求められます。

チェック項目	確認ポイント
ジェスチャー、シンボル、絵等言葉以外で伝えられるメッセージの意味を理解しているか (例：声かけをした際に返事がなく、ぐったりしていると体調が悪いと理解する)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や家族が戸惑って周りを見回している状況で、声かけができる。 ・声かけをしたときに返事がなく、ぐったりとしている状況を理解できる。 ・上記の状況を報告できる。

(解説)

- ・コミュニケーションは言葉を交わすだけではありません。表情や身振り手振り等、様々あります。言葉を交わさなくても相手をよく観察することで、相手の状況を想像することができます。

チェック項目	確認ポイント
ひらがなで伝えられる簡単な単語を理解しているか (例：「○○さんからでんわ」等)	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ、どこで、だれが、なにを、どのように、なぜ (5W1H) について理解できる。チェック項目の例 —○○日の○時の打ち合わせをうちあわせをします —○○で、かいぎがあります —○○さんがよんでいます

(解説)

- ・日本語には、ひらがな、カタカナ、漢字等様々な文字があります。まずは、ひらがなで簡単な単語を読んだり、理解できるかということから、日本語に慣れていきましょう。

4. コミュニケーション

(1) 話し言葉やジェスチャー等を理解できる

「利用者や利用者の家族、実習指導者等の話し言葉やジェスチャー等の意味が理解できているかを確認する」

<チェック項目>

- 利用者やその家族、実習指導者の話を聞いて、字句どおりの意味を理解しているか
- 利用者やその家族の表情や身振り、絵など、言葉以外で伝えられるメッセージの意味を理解しているか
- 利用者の状況を記録するチェック表等を見て、その内容を理解しているか

<チェック項目と確認ポイント>

チェック項目	確認ポイント
利用者やその家族、実習指導者の話を聞いて、字句どおりの意味を理解しているか	・言葉の意味を理解している。

チェック項目	確認ポイント
利用者やその家族の表情や身振り、絵等、言葉以外で伝えられるメッセージの意味を理解しているか	・利用者等が発信するメッセージに気付いている。 ・伝えたいメッセージがあることに気づき、かつ、その内容を理解している。

(解説)

- ・コミュニケーションは言葉を交わすだけではなく、表情や身振り手振り等、様々なものがあります。言葉を交わさなくても相手をよく観察することで、相手の状況を想像することができます。

チェック項目	確認ポイント
利用者の状況を記録するチェック表等を見て、その内容を理解しているか	・チェック表等の内容を理解している。

(解説)

- ・記録の中には、利用者の食事量や排泄量を記載しているものがあります。利用者の体調の変化や急変時にはその情報を参考に原因を分析することもあります。そのため、記録を読み取ることも大切なことです。

- ・利用者等の発信するメッセージが理解できないままでは、利用者のニーズに対応できず、場合によっては命の危険にさらしてしまうことが想定されます。
- ・対人サービスであるからこそ、利用者等の発信するメッセージを正しく把握する力が必要です。
- ・場合によっては、利用者等の発信する言葉の意味を理解しないままに返事をしてしまうことが想定されますので留意が必要です。
- ・来日からの期間により求めるレベルは変わってきます。日本の文化の理解度ともリンクしますので、求めるレベルは、総合的に判断する必要があります。

(2) 話し言葉やジェスチャー等を使うことができる (N3以上)

「利用者や利用者の家族、実習指導者等の話し言葉やジェスチャー等を使って意思疎通を図ることができるか確認する」

<チェック項目>

- 利用者やその家族、実習指導者と双方向の意思伝達をしているか

<チェック項目と確認ポイント>

チェック項目	確認ポイント
利用者やその家族、指導者と双方向の意思伝達をしているか	・双方向の意思伝達になっている。 ・相手の発信するメッセージが理解できなかった場合、その内容を確認している。

(解説)

- ・信頼関係を築くためにも、双方向のやりとりが成立していることが必要です。
- ・双方向のやりとりが成立しなければ、利用者のニーズに対応できず、場合によっては命の危険にさらしてしまうことが想定されます。
- ・対人サービスであるからこそ、意思疎通を図る力が求められます。
- ・場合によっては、利用者等の発信する言葉の意味を理解しないままに返事をするのが想定されることに留意が必要です。
- ・来日からの期間により求めるレベルは変わってきます。日本の文化の理解度ともリンクしますので、求めるレベルは、総合的に判断することが必要です。